

# F99 レコードブレイカー

[部分編集]

## 変革の叛旗

UNIT

U-C93 赤 3-5-2 R

[プリベント\(5\)](#) [クイック](#) [高機動](#)

(自動B)：このカードはプレイされて場に出る場合、リロール状態が出る。

(常時)：《(1)》このカードは交戦中ではない場合、本来の持ち主の手札に移る。このターン、自軍プレイヤーは、カードをプレイできない。

宇宙 地球 [4][1][4]

---

[クイック](#)と[リロールイン](#)、[高機動](#)に、[高機動型ガン\(ジョニー・ライデン機\)](#)の様な手札に戻る能力を持っているユニット。

ユニットサイズも平均並みと、コスト・パフォーマンスは非常に高い。

手札に戻る能力は常時タイミング。前述した[高機動型ガン\(ジョニー・ライデン機\)](#)の能力とほぼ同様の[回避能力](#)として機能する。

[カウンター](#)では対処できない[ケンプファー\(試作機\)](#)による[除去](#)も回避できるし、[高機動型ガン\(ジョニー・ライデン機\)](#)と違って自軍ターンやダメージ判定ステップといった隙も無い。赤にとっては天敵である[リング](#)や[デストロイガンダム《DB8》](#)による[ハンデス](#)も(他にユニットがいなければ)回避可能。

また、自軍ターンに殴る 自軍ターン中に戻す 敵軍ターンに再展開、と行動する事で、[補給](#)したかの様な攻防一体の動きができる。大量の資源コストがかかるので乱用はできないが、覚えておけば役に立つ。

手札に戻る能力という事で定番の、[トビア・アロナクス《10th》](#)や[ゲモン・バジャック](#)との[コンボ](#)も成立する。

交戦中になると使えなくなるが、とりあえず[高機動](#)があるので問題無い。[ガンダムエクシア](#)の様に戦闘エリアに直接飛び込んで来るタイプのものに対しても、プレイならば[カットイン](#)する事で回避可能。

むしろ、この能力を解決した後のカードをプレイできなくなる方に注意。[核の衝撃](#)を避けたと思ったら直後に[報道された戦争](#)が待っていてむしろ被害増大、なんて事の無い様に、慎重なプレイングを心がけたり、[内憂外患](#)を組み合わせたりして、なるべく隙を小さくしてやりたい。

また、プレイではなく自動B効果である[キラ・ヤマト《DB5》](#)や[ガンダムF91\(ハリソン機\)](#)は天敵となる。宣言と同時に交戦中となるため逃げる事が出来ず、単機では一方的に破壊されてしまう。

加えて最大の欠点は、カードパワーにも見合った指定国力の高さ。混色デッキに採用した場合はプレイすらできない事も少なく無いだろう。その意味では、ある程度デッキを選ぶカードだと言える。

また、例えば [ガンダム](#)や[サザビー《EB1》](#)と比べたとき、単純に打点が低いという事もある。[フィニッシャー](#)として運用する際には、少し頼りないかもしれない。

- 手札に戻す効果に[カットイン](#)で[ガンダムエクシア《19th》](#)が降って来て交戦するなどといった事で効果の解決に失敗した場合、カードのプレイは制限されない。